

解答

1 過密 2 横行 3 際限 4 純情 5 模型 6 じっし 7 きてき 8 せきしょ

1 イ 2 ウ 3 エ 4 イ
オ、イ
（たて）

1 イ 2 ウ 3 エ 4 イ
オ、イ
（たて）

1 イ 2 ウ 3 エ 4 イ
オ、イ
（たて）

1 イ 2 ウ 3 エ 4 イ
オ、イ
（たて）

1 イ 2 ウ 3 エ 4 イ
オ、イ
（たて）

1 イ 2 ウ 3 エ 4 イ
オ、イ
（たて）

三 解説

エ ウ ア ア オ ウ エ ウ イ ウ エ イ オ イ
エ、オ

1 棒線①が春の空の描写であることを踏まえます。「どんより かすんだ目をして」から浮かぶ情景としては、選択肢才の「空がすっきりと晴れ渡らない様子」が適切です。
5 各連の始めに「春の空」、「夏の空」、「秋の空」、「冬の空」とあるので、選択肢アはふさわしく、また空の様子をまるで人間のように表していることから、選択肢イもふさわしいことがわかります。選択肢ウは「曇りがちな空」、選択肢エは「作者が成長していく様子」、選択肢オは「体言止め」という記述が、それぞれふさわしくありません。

5 傍線⑤の前後の内容から考えます。アメリカの政治学者が世界を8つの文明に分類し、日本を日本文明として、そこに所属するのは日本だけであるとしたこと、筆者が宗教心において、これほど寛大で、優しい民族はないと考えていることから、「日本人の特殊性を理解している」という記述を含む選択肢ウが適切です。
7 本文のはじめに、聖徳太子という人物が語り継がれてきたという価値観が大切であること、何ゆえに語り継がれてきたかというと、日本人の性質にぴったりと寄り添うものだつたからだという筆者の思いが述べられています。主題としてふさわしいものは、選択肢ウであることがわかります。

2 補助輪をはずした時、練習中に何度も転んで、最後にかんしゃくを起こして、道にひっくり返って泣いた。とあります。幼稚な態度をとつていた自分から、大人になつたような気がしたことを考えると、選択肢ウが適切であるとわかります。
7 「ぼくはポスターを描いた。」で始まる段落から、ミニコミ誌に載せるまでのことを描いている部分に着目します。隅々までわかつていて、おもいでのたくさん詰まつた自転車であることから、「初めて」、「新鮮さ」という記述を含む、選択肢エがふさわしいことがわかります。